

2008年2月15日

**(株)ノーリツ、
B R I C s のブラジル、ロシア市場に本格進出**

～ 2010年、売上高300億円を目指し、海外事業を加速 ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社：神戸市、取締役社長：神崎 茂治、資本金：201億円、東ノ大証一部上場)は経済発展が著しい新興市場「B R I C s」のブラジルとロシアで給湯器市場に本格参入します。

ブラジルでは、本年4月から独・BOSCH社の現地法人向けに瞬間式のタンクレス・ガス給湯器のOEM(相手先ブランドによる生産)を開始します。初年度は、中国・上海で生産したタンクレス給湯器を中心に1万台を供給します。

ロシアでは、2007年秋から行っているタンクレス給湯器のフィールドテストの結果を踏まえ、5月から販売を開始します。モスクワ市内にはすでに駐在員事務所を開設済みで、今後、モスクワ建築大学にタンクレス給湯器の研修センターを設置し、技術者への支援も強化する予定です。

ブラジル市場

初年度は、中国・上海で生産したタンクレス給湯器の2機種1万台を4月からOEM供給し、2010年には輸出分も含め3万台を同国で販売する計画です。

当社はオセアニアでも独・BOSCH社の現地法人向けにOEM供給を行っており、販売実績が好調であることからブラジル市場でのOEM供給に合意しました。

ブラジルは経済発展によって、特にサンパウロ市など都市部でマンションなどの建設が相次いでおり、家庭用ガス給湯器の需要も2007年は前年比20%増に拡大しています。当社はブラジル市場に向け高価格帯のタンクレス給湯器の輸出実績があり、増加する集合住宅向けにガス給湯器販売に力を入れたい当社と、ホームセンターでの販売力に強みを持つBOSCH社の意向が一致し、OEMが実現しました。

ロシア市場

当社はすでに2007年9月、モスクワ市内にロシア駐在員事務所を設置し、併せてタンクレス給湯器の厳冬期を含めたフィールドテストを行っています。

この結果をもとに、集合住宅の集中給湯システムからの取替え需要を狙ったタンクレス給湯器の販売を今年5月から開始、初年度は大能力タイプのタンクレス給湯器を日本から輸出する計画です。

さらに、モスクワ建築大学(所在地：モスクワ市)にも当社製品の研修センターを設置する予定で、建築を学ぶ学生、設計士、施工者など技術者向けの支援を強化します。

ロシア市場は経済発展とともに平均所得も増え、生活水準が高くなっています。

また旧ソ連時代に整備された中央暖房システムの老朽化なども進んでおり、年間およそ200万台の給湯器の需要があります。

ノーリツグループではこれまで欧米、アジア、オセアニア、南米を中心に15カ国でタンクレス給湯器の販売を行い、現在、海外には計7つの現地法人を有しています。

また昨年、世界にむけた生産工場として中国・上海に第二工場が竣工、今年春より完成品の出荷を開始します。

3年後の2010年には、海外事業全体（日本からの輸出を含む）で07年期売上の2倍にあたる300億円に、また販売台数は同2.2倍の82万台をそれぞれ目標にしています。